



DNW-26019 の概要

課題名 : 癌細胞の浸潤、増殖および生存促進タンパク質 X の阻害薬の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

稲垣 直之 (国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学研究・イノベーション推進機構)

ステージ: 検証ステージII

【標的疾患】

悪性グリオーマ

【創薬標的】

標的タンパク質 X

【創薬コンセプト】

がん細胞に特異的に発現する標的タンパク質 X を阻害してその増殖、浸潤を阻害する。

【ターゲットプロダクトプロファイル】

標的タンパク質 X の発現を抑制して抗がん作用を示す医薬

【モダリティの設定】

核酸医薬

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) 標的タンパク質 X はがん細胞に発現し、その浸潤に機能する。
- 2) 標的タンパク質 X は胎児の脳で発現し、成長した脳には発現しない(マウス実験)。

以下のことが創薬ブースター支援により明らかにされている。

- 1) 標的タンパク質 X はがん細胞の増殖にも関与し、その阻害により細胞死が誘導できる。
- 2) 標的タンパク質 X の発現が多いほど、増殖の抑制効果も強い。
- 3) 標的タンパク質 X の増殖シグナル、細胞死誘導のシグナルが明らかにされた。
- 4) 健常人の脳には標的タンパク質 X の発現がないことを確認した。

【科学的、技術的な優位性】

標的タンパク質 X に関する豊富な実験成績がある。特に X 特異的な抗体を有することで、他にはない解析が可能である。

【支援ステージにおける目標】

標的タンパク質 X の阻害が患者における治療効果を示唆する実験成績を取得する。

【関連特許】

なし

テーマに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

Principal investigator へのお問い合わせはご遠慮くださるようお願いいたします。

(問合せ先)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬事業部

E-mail : id3desk@amed.go.jp